

今回の内容：会議情報

## 会議情報

最近の、消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

### 第36回消費者安全調査委員会（平成27年9月25日）

- 発足から3年間を振り返って（ニュースレター）  
調査委員会は、平成24年10月に発足し、4年目を迎えることとなりました。これまでの3年間を振り返り、活動を取りまとめた資料を作成しました。  
<[http://www.caa.go.jp/csic/pdf/150925kouhyou\\_1.pdf](http://www.caa.go.jp/csic/pdf/150925kouhyou_1.pdf)>
- 体育館等の床から剥離した床板による負傷事故  
体育館等は広く利用されていますが、バレーボールの活動中などに、床から剥がれた床板が体に突き刺さる事故が起っています。こうした事故の発生が知られておらず、今後も同じような事故が発生する可能性があると考えられることから、調査委員会として再発防止のための調査を行うことにしました。  
<「体育館等の床から剥離した床板による負傷事故」について[http://www.caa.go.jp/csic/pdf/150925kouhyou\\_2.pdf](http://www.caa.go.jp/csic/pdf/150925kouhyou_2.pdf)>
- 毛染めによる皮膚障害  
事務局から報告書素案の検討状況について説明を受けました。詰めの議論をしっかりと行いながら、できるだけ速やかに公表したいと考えています。
- エレベーター事故  
報告書を取りまとめていくに当たり、事故原因の分析から結論に至る考え方について担当専門委員と事務局から説明を受け、方向性について議論しました。
- 一般の方からいただいた「申出」事案  
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち1件については調査を行わないことになりました。残りの案件（32件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で調査委員会において判断していくこととなります。

### 部会の動き

- 工学等事故調査部会（9月上旬に開催）
  - ・エレベーター事故：（消費者安全調査委員会と同様）
  - ・ハンドル形電動車椅子事故：事務局からこれまでの調査経過の報告を受けました。
- 食品・化学・医学等事故調査部会（9月上旬に開催）
  - ・毛染めによる皮膚障害：報告書の取りまとめに向け、皮膚障害事例が継続的に発生する原因や再発防止策、それらを踏まえた意見の内容を中心に議論しました。
  - ・子どもによる医薬品誤飲事故：子どもが開けにくく、しかし、高齢者など本来服用するべき方々が開けることができる包装容器（チャイルドレジスタンス・シニアフレンドリー包装容器）のパネル試験の進捗状況について、事務局から説明を受けました。